

千葉県営水道事業中期経営計画

(平成28年度～平成32年度)

～「いつでも、安全でおいしい水を安定して供給し、
お客様が安心し、信頼を寄せる水道」を目指して～



平成28年3月
千葉県水道局

はじめに

世代を継いで水道水をお届けして80年。

千葉県営水道は、昭和11年に給水を開始して今年で80周年を迎えます。

この間、安全かつ良質な水を安定してお客様にお届けすることを最大の使命として、安定水源の確保、浄・給水場や管路等の整備・更新、危機管理体制の充実、業務能率の向上や経営体質の強化等に取り組んでまいりました。

その結果、戦災の復興期から高度経済成長期、そして現在にいたるまで千葉県の発展とともに水道事業を拡大し、今では約300万人のお客様の生活用水を賄い、本県の経済・生産活動を支える全国屈指の水道事業体に成長しました。

加えて、原水水質の悪化に対応するため、全国の水道事業体に先駆けてオゾン処理と活性炭処理を併用した高度浄水処理システムを導入するなど、先進的な技術を積極的に採用してきたところです。

しかし、来たるべき人口減少社会、給水収益の伸び悩み、水道施設の更新需要の増大等、千葉県営水道を取り巻く経営環境は近年大きく変化しています。加えて、県の行政改革の一環として千葉県企業庁が改組されることに伴い、平成28年度から千葉県水道局は工業用水道事業も担うなど、地方公営企業として新たなスタートを切ることとなります。

こうした中で、この計画は千葉県営水道事業の経営に関する基本方針として、基本理念「いつでも、安全でおいしい水を安定して供給し、お客様が安心し、信頼を寄せる水道」を目指していくこととし、様々な経営課題に対処していくため、平成28年度から向こう5年間に達成すべき基本目標とそれを具現化する主な施策・取組を体系的に取りまとめたものです。

折しも、2020年には我が国で東京オリンピック・パラリンピックが開催されることから、世界中から訪れる多くのお客様を蛇口から安心して飲めるおいしい水でおもてなしし、日本と千葉県の良さを感じていただきたいと思えます。

当局では、本計画に基づき、いつでも安全でおいしい水をお届けすることで、お客様からのさらなる信頼を得るとともに、健全経営の確保に取り組んでまいります。

平成28年3月 千葉県水道局長 田谷 徹郎

千葉県営水道事業中期経営計画 目次

第1章 計画の趣旨及び性格	1
第2章 経営基本構想	2
第1節 県営水道の今日の姿	2
1 県営水道の沿革	
2 県営水道の役割	
3 安全でおいしい水づくりに向けた取組	
第2節 県営水道を取り巻く環境等の変化と主要な経営課題	8
1 社会情勢・環境の変化	
2 主要経営課題	
第3節 県営水道のこれからの経営	19
1 「基本理念」－目指す方向性	
2 「基本目標」－目指す姿	
第3章 実施計画（5か年の主要施策と主な取組）	20
<<基本目標1>> 「強靱」な水道の構築	21
主要施策(1) 安定給水の確保	
主要施策(2) 耐震化の推進	
主要施策(3) 危機管理体制の充実	
<<基本目標2>> 「安全」な水の供給	29
主要施策(4) 安全な水づくり	
主要施策(5) おいしい水の供給	
<<基本目標3>> お客様からの「信頼」の確保	35
主要施策(6) お客様サービスの推進	
主要施策(7) 大規模事業体の責務と社会貢献	
<<運営基盤の強化（人材・業務能率・経営）>>	40
第4章 計画の推進に当たって	44
第1節 多様な主体との連携・協働	44
第2節 財政収支見通し	44
第3節 計画の進行管理	46
用語解説	53

(注) 本文中の※印の用語については、53 ページ以降に解説を掲載しています。

第1章 計画の趣旨及び性格

この計画は、前計画「千葉県水道局中期経営計画2011」（計画期間：平成23年度～27年度）の実施により得られた成果を引き継ぎ、さらに発展させていくことを目的とした、平成28年度から平成32年度までの千葉県営水道（以下、「県営水道」という。）の水道事業経営に関する基本計画であり、水道事業を運営する上での指針ともなるものです。

併せて、本計画は、平成25年3月に厚生労働省が策定した「新水道ビジョン^{*}」に基づいて、各水道事業体が地域水道の理想像を具現化するために策定する「水道事業ビジョン」であるとともに、総務省が策定を求めている、地方公営企業の中長期的な経営の基本計画である「経営戦略^{*}」としての性格も有しています。

また、千葉県水道局は老朽化した水道施設の更新と併せて耐震化を進めていくため、平成28年度から30年間にわたる施設整備の指針である「千葉県営水道事業長期施設整備方針^{*}」を策定しました。この方針では、将来の水道施設の再構築を視野に入れ、重要度、老朽度及び耐震化の必要性等を考慮するとともに、当局が独自に施設毎に設定した目標使用年数^{*}に基づき、水道施設の更新・整備を計画的に実施していくこととしました。本計画は、この方針の冒頭5年間の具体的な取組を示しています。

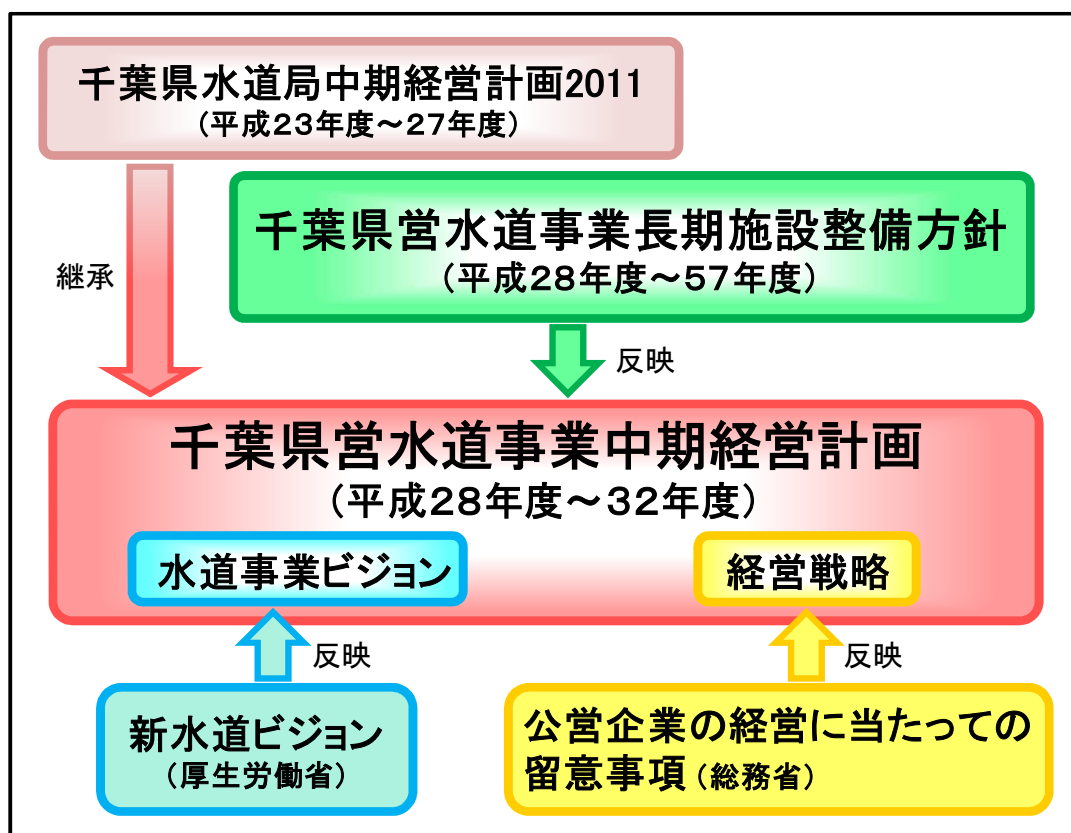


図1-1 千葉県営水道事業中期経営計画とその他の計画等との相関関係